

活動報告

団体名	中央大学ボランティアセンター
活動名	仮設住宅での孤立を防ぐコミュニティ形成と被災者の生きがい作り支援活動
活動期間	2019/04/01～2019/09/30
活動の成果	<p>中央大学として、継続的に4つの仮設住宅において活動させていただいたため、住民さんの変化が見ることができた。例えば、真備町のある仮設住宅では、建物の構造上、北と南で分かれておりなかなか相互の交流が見られなかったが、継続的に学生が仲立ちをしながらイベントを行ってきた成果もあり、住民さん同士の交流が特に9月活動で見られるようになっていた。イベントを行う際も、交流ができやすいような机の配置や、内容を心掛けた。9月の活動では、イベントの準備や後片付けを積極的に住民さんが手伝ってくださったり、イベントに向けて住民さんが話し合い、うどんのトッピングとなる天ぷらを分担しながら作ってくださったり、大きな変化が見られた。これはメンバーが変わったといえども「中央大学の学生」が頻繁に訪れることで信頼関係を得られ、雰囲気もとても良くなっていた。今後は住民さんが自主的にイベントを開いたりすることも見られるのではないだろうか。活動のたびに社会福祉協議会の職員さんに、活動を通して感じたこと、気になる住民さんのことをお伝えしてきた。社会福祉協議会の職員さんも、担当地域が広くなかなか回ることができず、ご存知ない情報を提供することができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は多大な支援をありがとうございました。私達は大学生という特別な立場であり、それを活かしながら大学生でしかできない活動を目指しながら活動を行っています。仮設住宅においては、一人暮らしの高齢の方々が多くいらっしゃいます。外出も困難で誰とも話さず一日を終えるような方もいらっしゃいます。そんな中、現地へ足を運び、その方々と向き合い、少しでも心がホッとできるようなそんな孫のような存在でありたいと思っています。</p> <p>学生ということもあり、交通費や宿泊費など、経費面でサポートしていただけたことは大変ありがたく、感謝の思いでいっぱいです。お蔭様、継続的に真備町の皆様にお会いすることでき、多くの学生が真備へ行くことができました。今後も、「ふらっと真備」というチーム名で活動を続けていくことが決まっています。今後ともよろしく願いいたします。</p>

(活動のようす)

